



Kotohomu.llc Repository

物語世界を「生かす」ための
時代考証ライブラリー
【テーマ別深掘り編 Vol.3】

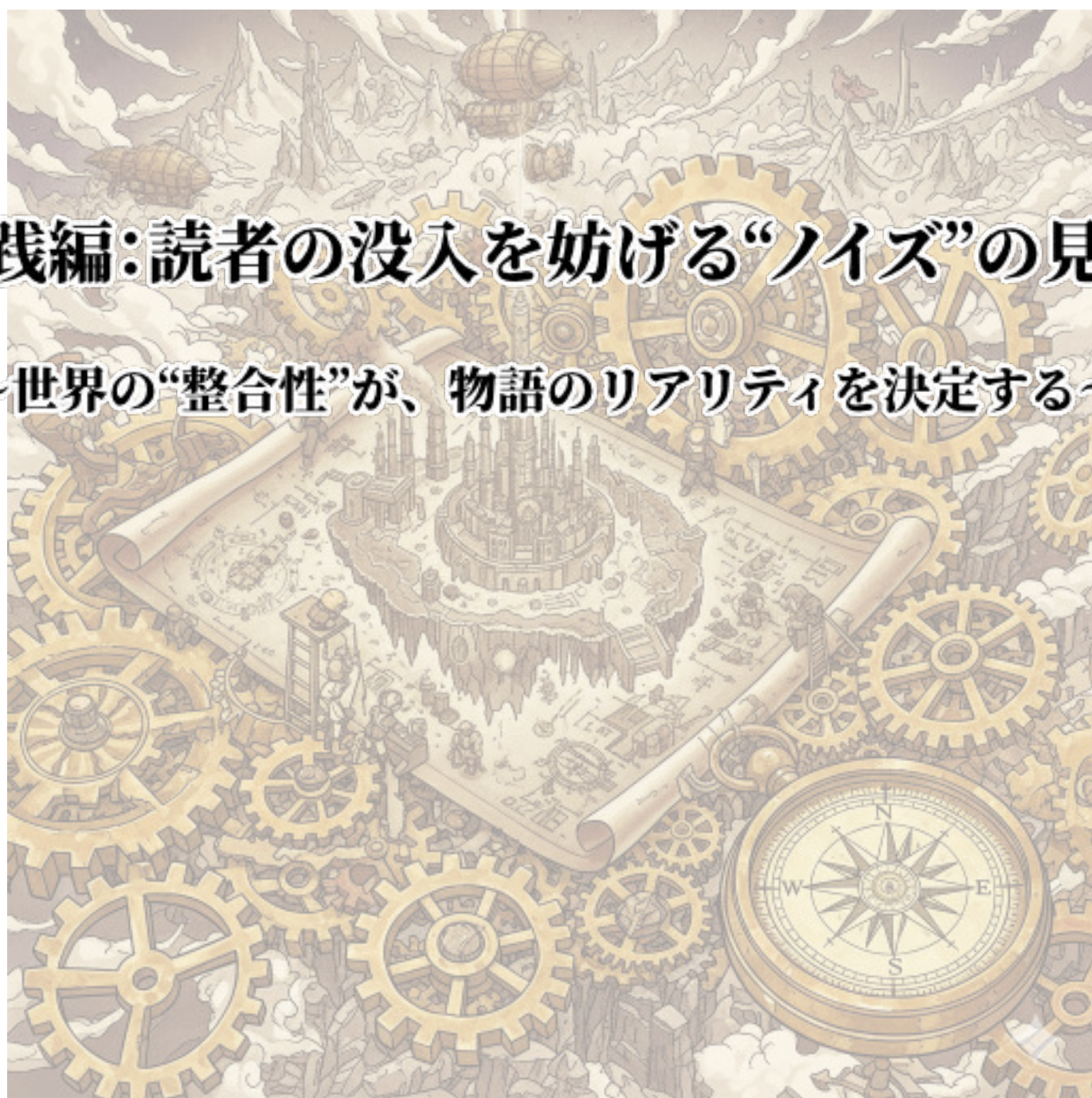


05



創作実践編：読者の没入を妨げる“ノイズ”の見つけ方

～世界の“整合性”が、物語のリアリティを決定する～





あなたの物語世界には、魅力的な設定が溢れていることでしょう。
しかし、個々の設定が魅力的でも、それらが組み合わさった時に矛盾が生じると、読者の無意識はそれを“ノイズ”として感じ取り、物語への没入を妨げてしまいます。

この資料では、多くの創作者が陥りがちな設定の矛盾を例に挙げ、その解決策を探ります。

これらは決して「間違い」ではありません。
しかし、なぜそうなっているのか、説得力のある理由付けを用意することで、世界の解像度は格段に上がり、ありふれたファンタジーから一歩抜け出すことができるのです。



ノイズ①：教会があるのに、宗教対立が無い

■【陥りやすい設定】

ファンタジー世界には教会が背景として登場するが、人々の生活にあまり影響を与えず、教義を巡る深刻な対立も描かれない。

■【歴史的現実】

中世ヨーロッパにおいて、カトリック教会は社会のあらゆる側面に絶大な影響力を持つ存在でした。

異端審問に代表されるように、教義の違いは時に血で血を洗う対立を生みしました。

▼創作のヒント

もしあなたの世界で教会が穏やかな存在であるなら、その理由を描写することで、世界に深みが生まれます。

理由の例 1：過去に大陸全土を巻き込むほどの大きな宗教戦争があり、その悲劇の反省から、人々は教義の違いに寛容になっているのかもしれない。

理由の例 2：強力な王権が教会を完全に支配下に置いており、王の意に沿わない教義を唱えることを厳しく禁じているのかもしれない。



ノイズ②：誰でも本が読めるのに、移動は馬車しかない

■【陥りやすい設定】

身分に関わらず多くの人々が文字を読み、図書館で自由に知識を得られる。
しかし、人々の長距離移動手段は、中世レベルの馬車や徒歩に限られている。

■【歴史的現実】

活版印刷の普及（15世紀～）が知識の大衆化を促し、蒸気機関による鉄道網の発達（19世紀）が人々の移動を革命的に変えました。

知識（情報）の伝達速度と、人やモノの移動速度は、多くの場合、比例して発展します。

▼創作のヒント

もしこの二つの技術レベルに大きな差がある世界を描くのであれば、その理由が独創的な世界観の核となり得ます。

理由の例1：魔法によって、情報伝達と記録（水晶による通信や記録など）だけが異常に発達した世界なのかもしれない。（紙は存在しない）

理由の例2：強大な馬車ギルドが、自分たちの利益を守るために、意図的に鉄道などの新しい交通技術の発展を阻害しているのかもしれない。



ノイズ③：巨大なガラス窓を持つ城に、王族が住んでいる

■【陥りやすい設定】

王城が、快適で眺めの良い、ガラス張りの美しい宮殿として描かれている。

■【歴史的現実】

中世の城は、王の快適な住居である前に、敵の攻撃から身を守るための軍事要塞でした。

大きく、割れやすいガラス窓は、防衛上致命的な弱点です。

▼創作のヒント

もしガラス張りの城が存在するのであれば、その理由こそが、あなたの世界の独自性を示すヒントになります。

理由の例 1：その世界は、魔法障壁によって鉄壁の防御が可能なため、物理的な城壁や小さな窓が必要ないのかもしれない。

理由の例 2：長い間戦争の脅威が全くない平和な時代が続いており、城の軍事的な意味が失われ、権威を示すための豪華な宮殿へと変化したのかもしれない。



おわりに：あなただけの「真実」を創造するために

全5回にわたるライブラリー、最後までお付き合いいただきありがとうございました。

私たちが目指したのは、歴史の完全な再現ではありません。
歴史が持つ「論理」や「必然性」を理解し、それをスパイスとして加えることで、あなたの物語世界をより豊かで、より「生きた」ものにすることです。

「お約束」は、読者との心地よい共通言語です。
しかし、その一歩先へ踏み出し、あなただけの世界の「当たり前」を創造したとき、物語は読者の心を掴んで離さない、抗いがたい魅力を放ち始めます。
この資料が、そのための確かな一歩となれば幸いです。

創作活動から、企業のブランディングまで。

物語の力で未来を創造する「ことほむ」は、あなたの挑戦をいつでもお待ちしております。

ことほむ合同会社（時代考証・文化観光 ナラティブバリュー・コンサルタント）

<https://kotohomu.com>

■本資料のご利用にあたって

本書の著作権は、ことほむ合同会社に帰属します。

著作権法で認められている引用の範囲を除き、弊社の許可なく、本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製、改変、販売、再配布することを固く禁じます。

本書に掲載された情報の正確性には万全を期しておりますが、その内容の完全性・正確性を保証するものではありません。

本書の情報をを用いて行う一切の行為について、弊社は何ら責任を負うものではありません。

© 2025 ことほむ合同会社